

第2部 調査結果の概要

・子育て支援に関する調査（就学前児童）

1. お子さんと家族の状況

兄弟の状況は、「1人っ子」が48.3%で最も多く、「2人兄弟姉妹」が39.9%であり、同居家族についても「3人」が43.6%、「4人」が35.7%となっている。

親との同別居状況は、母親、父親ともに「同居」が94%を超え最も多くなっており、「別居」は母親で0.2%、父親で0.8%、「死亡等でいない」が母親0.2%、父親2.9%となっている。

就労状況は、父親では「フルタイム」、「自営業・家族従業」をあわせて91.1%とほとんどを占めている。母親では、「無職」62.4%、「フルタイム」14.2%、「パート・アルバイト」10.6%等となっている。

子どもの世話を頼める親族や友人・知人の有無では、「近くにいる」が34.3%に対し、「いない」が17.6%となっている。

子どもの身の回りの世話は、「主に母親」が97.5%でほとんどを占めており、就労状況は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が54.2%で半数を超え、「就労している」は28.0%となっている。また、今後の働く意志は、「子育てがある程度落ちついたら働きたい」が66.1%に対し、「働く意志はあるが子どもの預け先がないので仕事が探せない」が9.3%と根本的な問題を抱えている人もいる。

2. 子育てに関する悩みや不安感

子育ての楽しさは、「とても楽しい」と「まあ楽しい」を合わせた“楽しい(合計)”が95.6%に対し、「あまり楽しくない」と「まったく楽しくない」を合わせた“楽しくない(合計)”が4.5%と、「楽しい」が「楽しくない」を大幅に上回っている。

自分の子どもをかわいいと感じるかということについては、「いつもかわいいと感じる」と「概ねかわいいと感じる」を合わせた“かわいいと感じる(合計)”が99.2%に対し、「かわいいと感じないことが多い」と「ほとんどかわいいと感じない」を合わせた“かわいいと感じない(合計)”は0.7%にとどまっている。

子育てに対して自信が持てないと思うときの有無は、「たまに思う」が68.9%であり、「いつも思う」が2.4%である一方、「まったくない」が17.3%となっている。

また、子育てに関して不安感や負担感の有無は、「非常に感じる」と「何となく感じる」を合わせた“感じる(合計)”が49.3%であるのに対し、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた“感じない(合計)”では39.0%となっている。

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無は、「ある」と「あるほうだ」を合わせた“ある(合計)”は77.3%であり多くなっている。

子育てに関して日常悩んでいることや気になることは、「子どもを叱りすぎているような気がする」と36.0%、「仕事や自分のやりたいことが十分できない」が35.9%、「子どもの教育に関する」と35.4%となっている。

子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることは、「自分の自由な時間が持てない」が42.8%、「子育てで出費がかさむ」が30.1%となっている。

身近な地域で、子育てに関する悩みや不安を相談しているのは、「配偶者・パートナー」が83.1%で最も多く、「父母」が65.3%、「地域の子育て仲間」が39.2%となっている。

3. 仕事と子育てを両立させる上で大変なこと

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは、「子どもと接する時間が少ない」が15.4%、「急病や怪我の時に代わり的人がい」が15.1%となっている。

4. 子育てに関する悩みの相談相手

身近な地域で、子育てに関する悩みや不安を相談しているのは、「配偶者・パートナー」が83.1%で最も多く、「父母」が65.3%、「地域の子育て仲間」が39.2%となっているが、「保健所・保健センターの保健師や相談員」は5.8%、「子供家庭支援センター『すこやか』」は4.1%、「市や都など公的相談機関」は1.5%にとどまっている。

5. 子育てに関する情報の入手方法

子育てに関する情報の入手方法は、「隣近所の人、地域の知人、友人」が73.2%で最も多く、「親族」が55.5%、「子育て雑誌・育児書」が40.5%となっている。

6. 児童虐待

「児童虐待防止法」の認知度は、61.1%が知っているとしているが、「児童虐待の通報先」では67.9%、「虐待相談機関」については65.0%が知らないとしており、児童虐待を発見した場合の通報場所は、「児童相談所」が61.1%で最も多くなっている。

自分の子どもにしたことがあることは、「何度もあった」と「あった」を合わせた“あった(合計)”で、「必要以上に大声でしかったことがある」が83.6%、「感情のおもむくままにたたいたことがある」が47.2%、「子どもに物を投げつけたことがある」が23.5%となっている。

7. 自主的な活動への参加状況

母親同士の交流の機会は、「ある」と「あるほうだ」を合わせた“ある(合計)”が68.0%、「あまりない」と「ない」を合わせた“ない(合計)”は31.5%となっている。一方、父親同士の交流の機会は、“ある(合計)”が10.3%、“ない(合計)”が86.7%となっている。

子育てに関する自主的な活動の参加状況は、「今後機会があれば参加したい」が42.8%となっているが、「現在も今後も参加するつもりはない」が41.2%と拮抗している。

自主的な活動をするにあたって望む行政からの支援は、「活動場所の提供」が67.0%、「活動時間中の保育サービス」が51.3%となっている。

8. 行政サービスについて

行政窓口や保健所・児童館などの担当者の対応についての不満は、「ない」が55.6%となっているが、「ある」とする人の理由としては、「対応が不親切」が50.1%、「手続きが煩雑で時間がかかる」が42.4%となっている。

子育て支援を進めるうえで望むことについて、保育対策や相談活動の分野では、「保育園の整備」が43.8%、「一時保育の充実」が40.8%、身近な生活環境や地域活動の分野では、「安全性、快適性に配慮した歩道の整備」が53.7%、「雨の日でも自由に遊べる遊び場の整備」が43.6%、教育・文化の分野では、「特色ある幼稚園・小学校教育の充実」が52.8%、「個性を大切にした教育の推進」が44.9%となっており、子どもが安全で自由に育つ環境を求めている。

子どもを健やかに産み育てるために必要なことは、「保育園や幼稚園等の費用負担を軽減する」が59.4%、「出産や育児のしやすい就労条件を促進する」が41.0%となっている。

9. 学校選択制度について

学校選択制度については、「知っている」が35.2%、「知らない」が31.3%と拮抗しているが、導入については「条件によって導入すべき」が63.9%となっており、慎重な考えを持っている。

学校選択制度が導入された場合に重視することは、「いちばん近い、または通学しやすい学校」が82.3%、「その学校の教育活動などに魅力を感じることに」が82.1%と比較的高くなっている。

10. 子育て支援サービスの認知度・利用意向について

サービスの認知度があるのは、「児童館」が93.4%、「母親学級・両親学級・育児学級」が90.5%、「調布市子ども家庭支援センター『すこやか』」が87.8%、「保育園やその他の保育施設」が76.2%となっている。

利用経験があるのは「児童館」が69.0%、今後の利用意向についても、「児童館」が76.8%で最も多く、「調布市子ども家庭支援センター『すこやか』」が74.2%、「『元気に育て！！調布っ子』」が72.3%となっている。

11. 調布市の子育て環境について

調布市は子育てがしやすいまちであるかについては、「どちらともいえない」が38.4%であり、「子育てしやすいまちだと思う」が35.4%、「子育てしやすいまちだとは思わない」が23.7%と拮抗している。子育てのしやすいまちだと思う理由としては、「自然環境がよい」が62.4%、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が55.9%となっている。一方、子育てのしやすいまちだとは思わない理由としては、「保育サービスが充実していない」が51.4%となっており、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が47.5%、場やサービスの不足をあげている。今後も調布市で子育てをしていきたいかという意向は、「当分の間は調布市で」が56.1%であり、「ずっと調布市で」についても28.1%となっている。

12. 保育の利用希望について

平日の利用希望は、「利用したい」が49.8%、「利用希望はない」が44.5%と拮抗しているが、利用希望日数は、「週5日」が64.4%となっている。

希望のサービスは、「保育園」が55.2%、「幼稚園」が30.1%であり、預けたい理由とし

ては、「現在就労している」が40.0%で最も多く、「そのうち就労したい」が21.7%となっている。

13. 保育の利用状況について

平日の現状は、「保育サービスなどを利用したり、親族・知人に預けている」が53.5%、「保育サービスなどを利用せず、親族・知人にも預けていない」が35.5%となっている。

「保育サービスなどを利用したり、親族・知人に預けている」人のうち、保育園・幼稚園への通園の有無は、「通っている」が84.6%であり、通園先は、「幼稚園」が62.7%、「保育園」が36.5%、日数は「週5日」が83.3%となっている。要望は、「今のままでよい」が、「保育園」で77.9%、「幼稚園」が87.5%となっており、現状維持を希望している。

認可外保育施設への通園の有無は、「通っている」が7.8%であり、施設は「認証保育所」が52.2%、日数は「週5日」が71.7%となっている。今後の意向としては「認可保育園へ預けたい」が54.3%と半数が認可保育園の通園の希望をしている。

「保育サービスなどを利用したり、親族・知人に預けている」人のうち、ベビーシッター、家政婦、ファミリー・サポート・センターの利用については「利用していない」が90.3%で大半を占めているが、「利用している」は4.1%であり、利用は「ファミリー・サポート・センター」が54.2%、日数は「週1日」が50.0%となっている。今後の意向としては、「今のままでよい」が45.8%であるが、「保育園へ預けたい」が33.3%となっている。

また、「保育サービスなどを利用したり、親族・知人に預けている」人のうち、親族・知人へは、「預けていない」が77.6%となっているが、「預けている」は17.7%であり、預けている人は「同居していない親族」が74.0%となっている。今後の意向としては、「今のままでよい」が60.6%となっている。

一方、「保育サービスなどを利用せず、親族・知人にも預けていない」理由としては、「必要ない」が58.9%となっているが、「空きがない」が3.1%、「時間が合わない」が0.3%となっている。

土曜日の保育の希望は、「利用希望はない」が74.5%となっているが、「ほぼ毎週利用したい」と「月1~2回利用したい」を合わせた“利用したい(合計)”は21.2%となっている。

休日の保育の希望は、「利用希望はない」が81.5%となっているが、「ほぼ毎週利用したい」と「月1~2回利用したい」を合わせた“利用したい(合計)”は12.1%となっている。

14. 子どもが保育園、幼稚園、認可外保育施設を休んだときの対処について

子どもが保育園、幼稚園、認可外保育施設を休むことは、「あった」が50.0%となっている。「あった」時の対処方法は、「就労していない保護者が自宅でみた」が51.2%、「母親が仕事を休んだ」が37.8%であり、日数は、「就労していない保護者が自宅でみた」では「5~10日」が33.6%、「3~4日」が16.1%、「母親が仕事を休んだ」も同様に「5~10日」が36.4%、「3~4日」が15.5%となっている。保育サービスを利用した人のうち、利用したサービスの種類は、「乳幼児健康支援一時預かり事業」が38.9%となっている。

15. 子どもの身の回りの世話ができなくなったときの対処について

子どもの身の回りの話ができなくなったことは、「あった」が 49.3%、「なかった」が 49.1%となっている。「あった」時の対処方法は、「親族・知人に預けた」が 61.3%、「配偶者が身の回りの世話をした」が 53.5%であり、日数は「親族・知人に預けた」では、「1～2日」が 35.9%、「5～10日」が 26.4%、「配偶者が身の回りの世話をした」でも同様に、「1～2日」が 43.3%、「5～10日」が 21.8%となっている。配偶者が身の回りの世話をした際の困難度は、「特に困難ではなかった」が 32.4%となっているが、「非常に困難だった」と「どちらかといえば困難だった」を合わせた“困難だった(合計)”が 33.9%となっている。親族(同居者を含む)・知人に預けた際の困難度は、「特に困難ではなかった」が 40.1%となっているが、「非常に困難だった」と「どちらかといえば困難だった」を合わせた“困難だった(合計)”が 29.4%となっている。

また、保育サービスを利用した方は「子どもショートステイ」が 35.1%、「ベビーシッター、家政婦」が 21.6%となっている。

16. 宿泊をとまなう一時預かりについて

家族以外に預けなければならなかったことは、「なかった」が 84.3%と多くなっているが、「あった」も 14.3%となっている。「あった」時の対処方法は、「親族・知人に預けた」が 93.0%で多くなっており、日数は「1泊」が 21.9%、「6泊以上」が 28.1%となっている。親族・知人に預けた際の困難度は、「特に困難ではなかった」が 63.0%となっているが、「非常に困難だった」と「どちらかといえば困難だった」を合わせた“困難だった(合計)”が 36.3%となっている。

・子育て支援に関する調査（小学校児童）

1. お子さんと家族の状況

兄弟姉妹の状況は、「2人兄弟姉妹」が38.6%で最も多く、「一人っ子」が21.6%であり、同居家族についても「4人」が43.0%、「3人」が21.0%、「5人」が19.4%となっている。

すべての子どもの年齢は、第1子で「7～12歳」が65.5%、「13～15歳」が14.7%、第2子で「7～12歳」が49.9%、「3～6歳」が34.7%、第3子で「7～12歳」が46.0%、「3～6歳」が27.6%となっている。

親との同別居状況は、母親、父親ともに「同居」が89%を超え最も多くなっており、「別居」は母親で0.4%、父親で1.2%、「死亡等でいない」が母親0.4%、父親5.7%となっている。

就労状況は、父親では「フルタイム」、「自営業・家族従業」をあわせて91.2%とほとんどを占めている。母親では、「無職」42.7%、「フルタイム」14.7%、「パート・アルバイト」29.0%等となっている。

子どもの世話を頼める親族や友人・知人の有無では、「近くにいる」が36.6%に対し、「いない」が13.5%となっている。

子どもの身の回りの世話は、「主に母親」が92.7%でほとんどを占めており、就労状況は、「就労している」が51.9%で半数を超え、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は30.1%となっている。また、今後の働く意志は、「子育てがある程度落ちついたら働きたい」が38.4%、「いい仕事があれば働いてみたい」が24.9%となっている。

2. 子育てに関する悩みや不安感

子育ての楽しさは、「とても楽しい」と「まあ楽しい」を合わせた“楽しい(合計)”が92.5%に対し、「あまり楽しくない」と「まったく楽しくない」を合わせた“楽しくない(合計)”が6.7%と、「楽しい」が「楽しくない」を大幅に上回っている。

自分の子どもをかわいいと感じるかということについては、「いつもかわいいと感じる」と「概ねかわいいと感じる」を合わせた“かわいいと感じる(合計)”が97.6%に対し、「かわいいと感じないことが多い」と「ほとんどかわいいと感じない」を合わせた“かわいいと感じない(合計)”は1.4%となっている。

子育てに対して自信が持てないと思うときの有無は、「たまに思う」が69.5%、「いつも思う」が1.7%である一方、「まったくない」が17.1%となっている。

また、子育てに関して不安感や負担感の有無は、「非常に感じる」と「何となく感じる」を合わせた“感じる(合計)”が47.1%であるのに対し、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた“感じない(合計)”が42.2%となっており、拮抗している。

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無は、「ある」と「あるほうだ」を合わせた“ある(合計)”が73.6%、「ないほうだ」と「ない」を合わせた“ない(合計)”が25.9%であり、7割が落ち着いた気分で子どもと接する機会を持っている。

子育てに関しての日常の悩みや気になることは、「子どもの教育に関すること」が50.1%、「子どもを叱り過ぎているような気がする」が37.0%、「友だちづきあい(いじめを

含む)に関すること」が34.3%と子ども自身のことに関することが多くなっている。

子育てをする上で特に不安に思うことや悩みは、「子育てで出費がかさむ」が42.0%、「住居が狭い」が23.1%等となっている。

身近な地域で子育ての悩みや不安を相談する人は、「配偶者・パートナー」が77.5%、「父母」が49.3%と親族が多くなっているが、「近所の知人」も44.5%となっている。

3. 仕事と子育てを両立させる上で大変なこと

仕事と子育てを両立させるため上で大変だと感じることは、「自分の代わりに身の回りの世話をする人がいない」が23.4%、「子どもと接する時間が少ない」が21.1%となっている。

4. 子育てに関する悩みの相談相手

身近な地域で、子育てに関する悩みや不安を相談しているのは、「配偶者・パートナー」が77.5%で最も多く、「父母」が49.3%、「近所の知人」が44.5%となっているが、「保健所・保健センターの保健師や相談員」は1.3%、「市や都など公的相談機関」は1.1%、「子供家庭支援センター『すこやか』」は0.5%にとどまっている。

5. 子育てに関する情報の入手方法

子育てに関する情報の入手方法は、「隣近所の人・地域の知人・友人」が74.7%で最も多く、「保育所・幼稚園・学校」が45.7%となっており、「親族」は44.3%となっている。

6. 児童虐待

「児童虐待防止法」の認知度は、72.8%が知っているとしているが、「児童虐待の通報先」では62.5%、「虐待相談機関」については60.8%が知らないとしており、児童虐待を発見した場合の通報場所は、「児童相談所」が68.2%で最も多くなっている。

自分の子どもにしたことがあることは、「何度もあった」と「あった」を合わせた“あった(合計)”で、「必要以上に大声でしかったことがある」が92.6%、「感情のおもむくままにたたいたことがある」が58.9%、「子どもに物を投げつけたことがある」が38.8%となっている。

7. 自主的な活動への参加状況

母親同士の交流の機会は、「ある」と「あるほうだ」を合わせた“ある(合計)”が69.1%、「あまりない」と「ない」を合わせた“ない(合計)”は29.7%となっている。一方、父親同士の交流の機会は、“ある(合計)”が11.9%、“ない(合計)”が82.1%となっている。

子育てに関する自主的な活動の参加状況は、「現在も今後も参加するつもりはない」が62.9%となっている。

自主的な活動をするにあたって望む行政からの支援は、「活動場所の提供」が65.0%、「情報発信やPR等に関する支援」が40.3%となっている。

8. 行政サービスについて

行政窓口や保健所・児童館などの担当者の対応についての不満は、「ない」が 49.0%となっているが、「ある」とする人の理由としては、「対応が不親切」が 60.6%、「手続きが煩雑で時間がかかる」が 42.7%となっている。

子育て支援を進めるうえで望むことについて、放課後児童対策や相談活動の分野では、「児童館活動の充実」が 45.8%、「児童クラブの充実」が 48.4%、身近な生活環境や地域活動の分野では、「安全性、快適性に配慮した歩道の整備」が 51.0%、「雨の日でも自由に遊べる遊び場の整備」が 40.6%、教育・文化の分野では、「個性を大切にした教育の推進」が 38.4%、「特色ある幼稚園・小学校教育の充実」が 32.7%となっており、子どもが安全で自由に育つ環境を求めている。

子どもを健やかに産み育てるために必要なことは、「出産や育児のしやすい就労条件を促進する」が 44.5%、「保育園や幼稚園等の費用負担を軽減する」が 44.1%となっている。

9. 学校選択制度について

学校選択制度については、「知っている」が 55.5%となっているが、導入については「条件によって導入すべき」が 58.0%となっており、慎重な考えを持っている。

学校選択制度が導入された場合に重視することは、「その学校の教育活動などに魅力を感じる」とが 78.8%、「いちばん近い、または通学しやすい学校」が 77.6%と比較的高くなっている。

10. 地域での子育て支援について

安心して子育てをするための地域に必要な取り組みは、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする」が 56.6%、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が 40.1%となっている。

子育て経験を活かせる場として、保育や遊びのボランティアへの参加意向については、「わからない」が 36.0%、「子どもが大きくなったら参加したい」が 26.5%となっており、「参加してみたい」は 18.9%にとどまっている。

児童館に望むことは、「子どもの体験を豊かにする行事や取り組みを行う」が 59.4%、「年齢を超えた子ども同士の交流ができる」が 52.9%となっており、子どもを主体とした機能の充実を望んでいる。

11. 子育て支援サービスの認知度・利用意向について

サービスの認知度があるのは、「児童館」が 92.9%、「母親学級・両親学級・育児学級」が 87.2%、「調布市子ども家庭支援センター『すこやか』」が 71.8%、「家庭相談・児童相談・ひとり親相談」が 71.6%、「保健センターの情報・相談サービス」、「保育園やその他の保育施設」が 65.5%、「保育園やその他の保育施設及び幼稚園の園庭の開放等」が 62.4%、「教育相談所の教育相談」が 57.6%となっている。

利用経験があるのは「児童館」が 75.2%、今後の利用意向についても、「児童館」が 58.7%で最も多くなっている。

12. 調布市の子育て環境について

調布市は子育てがしやすいまちであるかについては、「どちらともいえない」が 42.4%であり、「子育てしやすいまちだと思う」が 29.8%、「子育てしやすいまちだとは思わない」が 24.5%と拮抗している。子育てのしやすいまちだと思う理由としては、「自然環境がよい」が 81.1%、「住環境がよい」が 56.3%と環境についての評価が高くなっている。一方、子育てのしやすいまちだとは思わない理由としては、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が 57.6%、「保育サービスが充実していない」が 40.9%となっており、場やサービスの不足をあげている。今後も調布市で子育てをしていきたいかという意向は、「当分の間は調布市で」が 48.1%であり、「ずっと調布市で」についても 32.8%となっている。

13. 学童クラブの利用希望について

学年は、「小学校 5・6 年生」までが 36.6%となっており、位置は、「小学校の敷地内」が 67.1%、「児童館内」が 12.2%となっている。

平日の利用希望は、「週 3 日以上利用したい」と「週 1~2 日利用したい」を合わせた“利用したい(合計)”が 44.7%に対し、「利用希望はない」が 43.9%と拮抗している。希望の利用終了時間は、「17:00」₁、「18:00」の順となっている。また、長期休み中の希望する利用開始時間は、「8:00」₁、「9:00」₁、「8:30」の順で、ほぼ通常の通学時間帯と同じとなっている。また、利用希望の理由は、「現在就労している」が 60.6%で最も多く、「そのうち就労したい」が 20.2%であり、就労が主な理由となっている。

土曜日の利用希望は、“利用したい(合計)”が 25.2%に対し、「利用希望はない」が 60.7%となっている。希望の時間帯は、「9:00~17:00」₁、「8:00~18:00」の順となっている。

休日の利用希望は、“利用したい(合計)”が 14.1%に対し、「利用希望はない」が 71.4%となっている。希望の時間帯は、「9:00~17:00」₁、「8:00~18:00」の順となっている。

おやつ提供については、「はい」が 61.0%であり、提供の仕方は、「市販の菓子類でも手作りおやつでもどちらでもかまわない」が 62.1%となっている。一方、希望しない理由としては、「市販・手作りおやついずれでも、家庭における食生活を大切にしたいため」が 32.5%、「手作りおやつ提供であっても、夕食に影響があるため」が 22.1%となっている。

14. 学童クラブの利用状況について

平日の利用状況は、「週 4 日以上利用している」と「週 1~3 日利用している」を合わせた“利用している(合計)”が 12.0%に対し、「利用していない」が 80.6%と大幅に上回っている。利用終了時間は、「17:00」₁、「18:00」の順となっている。また、長期休み中の利用開始時間は、「8:30」₁、「9:00」の順となっている。

土曜日の利用状況は、「ほぼ毎週利用している」と「月 1~2 日利用している」を合わせた“利用している(合計)”が 1.0%にとどまっているのに対し、「利用していない」が 96.6%となっている。利用時間帯は、8:30~17:00 の間でばらついている。

15. 調布市放課後遊び場対策事業「ユーフォー」について

「ユーフォー」の認知度は、「知っている」が55.4%、利用意向については、「利用したい」が41.8%であり、「既に利用している」が15.5%となっている。

16. 宿泊をとまなう一時預かりについて

家族以外に預けなければならなかったことは、「なかった」が78.9%と多くなっているが、「あった」も17.7%となっている。「あった」時の対処方法は、「親族・知人に預けた」が83.0%で多くなっており、日数は「親族・知人に預けた」では、「1泊」が33.6%、「2泊」が25.4%となっている。サンプル数は少ないが、「保育サービスを利用した」では「6泊以上」が40.0%となっている。親族・知人に預けた際の困難度は、「特に困難ではなかった」が60.7%となっているが、「非常に困難だった」と「どちらかといえば困難だった」を合わせた“困難だった(合計)”が39.3%となっている。

また、保育サービスを利用した方は「子どもショートステイ」が最も多くなっている。一方、保育サービスを利用しなかった方の理由としては、「適切な保育サービスが見つからなかったから」が62.5%となっている。

・就学前児童と小学校児童との比較

1. 子育てに関する悩みや不安感

子育ての楽しさは、「とても楽しい」が就学前児童で34.2%、「まあ楽しい」が小学校児童で62.9%でとなっている。「あまり楽しくない」と「まったく楽しくない」をあわせた“楽しくない(合計)”は、就学前児童が4.5%、小学校児童が6.7%と小学校児童の方が若干高くなっている。

自分の子どもをかわいいと感じるかということについては、「いつもかわいいと感じる」が就学前児童で62.7%、「概ねかわいい」が小学校児童で44.3%となっている。

子育てに対して自信が持てないと思うときの有無は、「たまに思う」が就学前児童で68.9%、小学校児童で69.5%であり、「いつも思う」が就学前児童で2.4%、小学校児童で1.7%とほぼ変わらない。

子育てに関して不安感や負担感の有無についても、「非常に感じる」と「何となく感じる」を合わせた“感じる(合計)”が就学前児童で49.3%、小学校児童で47.1%であるのに対し、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた“感じない(合計)”では就学前児童で39.0%、小学校児童で42.2%とほぼ変わらない。

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無は、「ある」が就学前児童で26.5%、小学校児童で23.5%と就学前児童の方が若干高くなっており、「ないほうだ」では、就学前児童で20.5%、小学校児童で24.7%と小学校児童の方が高くなっている。

子育てに関して日常悩んでいることや気になることの上位3位は、「子どもの教育のこと」(就学前児童35.4%、小学校児童50.1%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」こと(就学前児童36.0%、小学校児童37.0%)、「仕事や自分のやりたいことが十分できない」(就学前児童35.9%、小学校児童23.5%)となっている。特に就学前児童では「仕事や自分のやりたいことが十分できない」,「病気や発育・発達に関すること」,「食事や栄養に関すること」,小学校児童では「子どもの教育のこと」,「友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」が高くなっている。

子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることの上位3位は、「自分の自由な時間が持てない」(就学前児童42.8%、小学校児童22.0%)、「子育てで出費がかさむ」(就学前児童30.1%、小学校児童42.0%)、「子育てによる身体の疲れが大きい」(就学前児童25.1%、小学校児童11.6%)となっている。特に就学前児童では「自由な時間が持てない」,「子育てによる身体の疲れが大きい」,「夫婦で楽しむ時間がない」,小学校児童では「子育てで出費がかさむ」が高くなっている。

2. 仕事と子育てを両立させる上で大変なこと

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることの上位3位は、「急病や怪我の時に代わり的人がい」(就学前児童15.1%、小学校児童23.4%)、「子どもと接する時間が少ない」(就学前児童15.4%、小学校児童21.1%)、「急な残業が入ってしまう」(就学前児童9.2%、小学校児童12.5%)となっている。特に就学前児童では「保育園など子どもを預ける場所が見つからない」,小学校児童では「急病や怪我の時に代わり的人がい」,「子

子どもと接する時間が少ない」、「急な残業が入ってしまう」が高くなっている。

3. 子育てに関する悩みの相談相手

身近な地域で、子育てに関する悩みや不安を相談相手の上位3位は、「配偶者・パートナー」(就学前児童 83.1%、小学校児童 77.5%)、「父母」(就学前児童 65.3%、小学校児童 49.3%)、「近所の知人」(就学前児童 36.3%、小学校児童 44.5%)となっている。特に就学前児童では「地域の子育て仲間」、「育児書や育児雑誌」、「インターネット」、「調布市子ども家庭支援センター『すこやか』」が高くなっている。

4. 子育てに関する情報の入手方法

子育てに関する情報の入手方法の上位3位は、「隣近所の人、地域の知人、友人」(就学前児童 73.2%、小学校児童 74.7%)、「親族」(就学前児童 55.5%、小学校児童 44.3%)、「保育所、幼稚園、学校」(就学前児童 39.3%、小学校児童 45.7%)となっている。特に就学前児童では「子育て雑誌・育児書」、「インターネット」、「子育てサークルの仲間」、小学校児童では「テレビ、ラジオ、新聞」が高くなっている。

5. 児童虐待

自分の子どもにしたことがあることは、「必要以上に大声でしかったことがある」、「泣きやまない子どもに暴力で泣きやませようとしたことがある」では「何度もあった」が小学校児童、「1、2度あった」が就学前児童で高くなっている。「感情のおもむくままにたたいたことがある」、「食事を与えなかったことがある」、「子どもが死ねばいいと思ったことがある」、「子どもに物を投げつけたことがある」では、「何度もあった」「1、2度あった」の回答数が少ないものの、小学校児童が高くなっている。また、「叱った後にすっきりしたことがある」では就学前児童と小学校児童で差は見られなかった。

6. 自主的な活動への参加状況

子育てに関する自主的な活動の参加状況は、就学前児童では「今後機会があれば参加したい」、小学校児童では「現在も今後も参加するつもりはない」が高くなっている。

自主的な活動をするにあたって望む行政からの支援の上位3位は、「活動場所の提供」(就学前児童 67.0%、小学校児童 65.0%)、「活動時間中の保育サービス」(就学前児童 51.3%、小学校児童 33.6%)、「情報発信やPRなどに関する支援」(就学前児童 40.4%、小学校児童 40.3%)となっている。特に就学前児童では「活動時間中の保育サービス」が高くなっている。

7. 行政サービスについて

子育て支援を進めるうえで望むことについて、身近な生活環境や地域活動の分野の上位3位では、「安全性、快適性に配慮した歩道の整備」(就学前児童 53.7%、小学校児童 51.0%)、「雨の日でも自由に遊べる遊び場の整備」(就学前児童 43.6%、小学校児童 40.6%)、「身近な公園・広場の整備」(就学前児童 40.8%、小学校児童 31.4%)となっている。特に就

学前児童では「公共的施設へのベビーベッド・子ども用トイレの設置」、「公園の維持管理の強化」、小学校児童では「体験活動の場づくり」、「子どもたちのボランティア活動等への参加機会の拡充」、「ガードレールなど交通安全設備の整備」が高くなっている。

教育・文化の分野の上位3位では、「特色ある幼稚園・小学校教育の充実」（就学前児童52.8%、小学校児童32.7%）、「個性を大切にした教育の推進」（就学前児童44.9%、小学校児童38.4%）、「豊かな心を育成するための教育の推進」（就学前児童27.5%、小学校児童27.8%）となっている。特に就学前児童では「ゆとりある教育の推進」、「子どもたちが文化・芸術にふれあえる鑑賞機会の充実」、小学校児童では「児童・生徒指導の充実」、「身近なスポーツ施設の整備」、「校庭など小学校の地域開放の推進」が高くなっている。

子どもを健やかに産み育てるために必要なこと上位3位は、「保育園や幼稚園等の費用負担を軽減する」（就学前児童59.4%、小学校児童44.1%）、「出産や育児のしやすい就労条件を促進する」（就学前児童41.0%、小学校児童44.5%）、「身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する」（就学前児童37.0%、小学校児童31.6%）となっている。特に就学前児童では「妊婦や子ども連れでも安心して自由に活動できるまちづくりを進める」、小学校児童では「親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める」、「男性と女性が一緒に家事育児に参加していくという考え方を広める」、「子育てを助け合うコミュニティづくりを進める」が高くなっている。

8. 調布市の子育て環境について

調布市は子育てがしやすいまちであるかについては、「子育てしやすいまちだと思う」が就学前児童で35.4%、「子育てしやすいまちだとは思わない」、「どちらともいえない」が小学校児童で高くなっている。

子育てのしやすいまちだと思う理由の上位3位は、「自然環境がよい」（就学前児童62.4%、小学校児童81.8%）、「住環境がよい」（就学前児童43.8%、小学校児童56.3%）、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」（就学前児童55.9%、小学校児童23.1%）となっている。特に就学前児童では「乳幼児医療助成制度が充実している」、「子育てに関する情報を得やすい」、「近所づきあいや地域活動が盛ん」、「保育サービスが充実している」、小学校児童では「職場と住居が近い」、「交通機関が便利」が高くなっている。

一方、子育てのしやすいまちだとは思わない理由の上位3位は、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」（就学前児童47.5%、小学校児童57.6%）、「保育サービスが充実していない」（就学前児童51.4%、小学校児童40.9%）、「交通機関が不便」（就学前児童29.3%、小学校児童18.2%）となっている。特に就学前児童では「子育てに関する情報を得にくい」、「地域の子育てネットワークができていない」、小学校児童では「事故や犯罪が多く危険」、「住環境がよくない」、「近所づきあいや地域活動が盛んではない」が高くなっている。

今後も調布市で子育てをしていきたいかという意向は、「ずっと調布市で」が小学校児童で32.8%、「当分の間は調布市で」が就学前児童で56.1%となっている。「ずっと調布市で」と「当分の間は調布市で」を合わせた「調布市で子育てをしていく（合計）」では、就学前児童が84.2%、小学校児童が80.9%と就学前児童の方がやや高くなっている。

・中・高校生の生活意識に関するアンケート調査

1. 自分と家族の状況

学年は、「高校生」が60.6%、「中学生」が39.4%であり、性別は、「女性」が56.3%、「男性」43.5%となっている。

同居状況は、「母親」が97.6%で最も多く、「父親」が88.6%、「兄弟姉妹」が79.0%であり、家族人数は、「4人」が44.7%、「5人」が21.9%、「3人」が18.4%となっている。また、兄弟姉妹の状況は、「2人兄弟姉妹の1番目」が35.3%で最も多く、「2人兄弟姉妹の2番目」が19.3%となっている。

親との同別居状況は、母親、父親ともに「同居」が85%を超え最も多くなっており、「別居」は母親で0.9%、父親で1.8%、「死亡等でいない」が母親1.1%、父親7.5%となっている。

就労状況は、父親では「フルタイム」、「自営業・家族従業」をあわせて85.1%とほとんどを占めている。母親では、「パート・アルバイト」40.5%、「無職」27.7%、「フルタイム」15.1%等となっている。

2. 普段の生活や考えについて

相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる人については、「学校の友だち・先輩」が77.6%で最も多く、「母」が59.1%、「学校以外の友だち・先輩」が38.5%となっている。

大切だと思うことは、「ほっとしたりする時間や自分の自由になる時間をもつこと」が78.2%、「自分のことは自分で決められること」が75.6%となっており、現実において「かなえられている」と「大体かなえられている」を合わせた“かなえられている(合計)”では、「自分の秘密が守られること」が84.1%、「自分のことは自分で決められること」が79.7%となっている一方、「あまりかなえられていない」と「全くかなえられていない」を合わせた“かなえられていない(合計)”では、「障がいのある子どもが差別されないで暮らせること」が51.7%と“かなえられている(合計)”を超えている。

一緒に住んでいる大人にしてほしいことは、「しつこくいろいろ聞かないでほしい」が41.7%、「おとなの考え方を押し付けないでほしい」が36.8%となっている。

今までで一番つらいと思ったときは、「仲間はずれ」が24.2%で最も多く、「親や先生から納得のいかない理由で怒られたとき」が22.7%となっている。

3. 未来について

20年後の自分の家庭については、「結婚して子どもがいる」が52.1%で半数を超えており、将来の家庭については、「男の人も女の人も働いて、いっしょに家のことや子育てをする家庭」が31.4%、「子どもが小さいときだけ女の人が家にいて、子どもが大きくなったら男の人も女の人も働いて、いっしょに家のことや子育てをする家庭」が28.9%となっている。

4. 乳幼児とのふれあい体験について

実際に赤ちゃんを抱いたことの有無は、「はい」が 66.7%であり、近所や親せきの赤ちゃんや幼児と遊んだことの有無は、「たくさんある」と「ときどきある」を合わせた“ある(合計)”は、61.5%であり、「全くない」は 12.0%となっている。

5. 調布市についての考え

調布市については、「とても好き」と「どちらかというが好き」を合わせた“好き(合計)”は、84.5%であり、「嫌い」は 2.6%となっている。気に入っているところは、「小さいころから住んでいるから」が 52.1%、「交通が便利」が 45.8%となっている。一方、嫌いなところは、「ごみごみしている」が 25.3%で最も多くなっている。また、将来の居住意向は、「わからない」が 53.6%で半数を超え、「住みたい」が 23.4%、「住みたくない」が 22.5%と拮抗している。

まちづくりや施策の進め方への意見等を言うことができる機会については、「参加するつもりはない」が 72.5%となっており、「参加したい」は 26.9%となっている。「参加してみたい」人の理由は、「意見を言い、よい地域を作りたいから」が 66.7%、「参加するつもりはない」人の理由は、「めんどくさいから」が 43.9%が最も多くなっている。

6. 父親・母親について

父親について「そう思う」としているのは、「お父さんは、わたしに対してやさしくあたたかいほうだ」が 50.1%、「お父さんは、わたしにいろいろなことを話すほうだ」が 38.2%となっている。

母親について「そう思う」としているのは、「お母さんは、わたしにいろいろなことを話すほうだ」が 63.3%、「お母さんは、わたしに対してやさしくあたたかいほうだ」が 62.9%、「お母さんは、わたしのことを、よく解ってくれる」が 52.8%となっているが、「お母さんは、わたしの勉強や成績について、うるさく言うほうだ」では「そう思う」、「どちらともいえない」、「そう思わない」が 33%前後で拮抗している。

7. 関心のあることについて

今、関心のあることは、「友だちづきあい」が 63.5%で最も多く、「音楽」が 59.8%、「将来のこと」が 58.3%となっている。

8. 欠かせないメディアについて

欠かせないメディアについては、「友人、知人と話をする」が 83.0%で最も多く、「テレビ」が 76.3%となっている。

9. 家にいる時の状況

家にいると楽しいことが多いかについては、「楽しいことが多い」が 59.7%となっているが、「楽しくないことが多い」も 11.3%となっている。

10. 体調について

体調については、「よくある」、「ときどきある」、「たまにある」を合わせた“ある(合計)”では、「疲れやすい」が84.0%で最も多く、「肩がこる」が68.5%となっている。「朝、食欲がない」では、“ある(合計)”が51.3%、「まったくない」が46.1%と差が5.2ポイントとなっている。

気分について感じることで“ある(合計)”は、「なんとなく大声をだしたい」が69.8%、「何もやる気がしない」が68.6%、「すぐ不安になる」が67.1%となっている。

11. 生活規範について

やってはいけないと思うことは、「シンナーを吸う」が94.7%、「万引きをする」が92.1%、「いじめ」が91.0%となっている。

12. いじめについて

いじめでしたことの有無は、「いじめをしたことはない」が40.2%で最も多くなっているが、「体や言葉づかいにことでからかう」が29.2%、「おしゃべりや遊びの仲間に入れない」が26.3%となっている。

いじめをされたことの有無は、「いじめられたことはない」が37.3%で最も多くなっているが、「体のことや言葉づかいのことでからかう」が30.6%、「おしゃべりや遊びの仲間に入れない」が27.7%となっている。

いじめだと思うことは、「お金や持ち物をとる」が81.3%で最も多く、「持ち物をかくしたり、こわしたりする」79.9%、「わけもなく暴力を振るう」が74.0%、「おしゃべりや遊びの仲間に入れない」が71.2%となっている。

13. 幸福感について

幸福感について、「とても幸せだ」と「まあ幸せだ」を合わせた“幸せだ(合計)”は、81.1%であり、「あまり幸せではない」と「まったく幸せではない」を合わせた“幸せではない(合計)”は、11.1%となっている。

14. 生活の目標について

生活目標にいちばん近いものは、「その日、その日を自由に楽しく過ごす」が41.9%、「身近な人たちと、なごやかな毎日を送る」が23.9%となっている。

人生の重要度について、「非常に重要だと思う」と「まあ重要だと思う」を合わせた“重要だと思う(合計)”では、「好きなことをする時間を持つこと」「自分で自分の人生を決めること」がそれぞれ98.0%、「自分に合った仕事で成功すること」「目標に向かって努力すること」がそれぞれ97.1%と大半を占めている。

15. 子ども条例について

子ども条例についての認知度は、「知らない」が63.0%となっており、調布市での導入については、「関心はあるが議論には参加したくない」が35.8%となっている。